



TITLE:

表紙・投稿規定・ニュース・プレ
プリント案内・掲示板・編集後記
・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・ニュース・プレプリント案内・掲示板・編集後記・
目次・裏表紙ほか. 物性研究 1966, 5(4): 246-250

ISSUE DATE:

1966-01-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/85835>

RIGHT:

昭和41年1月20日発行（毎月1回20日発行）
物 性 研 究 第5巻第4号

vol.5 no.4

物性研究

1966 | 1

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は 400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミクスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシヤの指定を忘れないように。oとaと0(ゼロ), uとnとrr, cとeが一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 図の縮尺はいたしませんから適当な大きさに画いて下さい。
6. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により現金で前納していただきます。
P: 400字詰原稿用紙による頁数
X: 別刷所要部数
別刷代 = $\frac{3}{4} X P$ 円
7. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は 400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミクスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシヤの指定を忘れないように。oとaと0(ゼロ), uとnとrr, cとeが一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 図の縮尺はいたしませんから適当な大きさに画いて下さい。
6. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により現金で前納していただきます。
P: 400字詰原稿用紙による頁数
X: 別刷所要部数
別刷代 = $\frac{3}{4} X P$ 円
7. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

プレプリント

- The Stability of Many-Particle Systems (Michael E. Fisher and David Ruelle)
- The Argon-Oxygen Phase Diagram (C. S. Barrett, L. Meyer and J. Wasserman)
- The Phase Diagram of Argon-Carbon Monoxide (C. S. Barrett and Lothar Meyer)

〔物性研〕

阿部研

- Ising Model Reformulation III. Quadruplet Spin Averages (Frank H. Stillinger, Jr.)
- Note on Electronic State of Random Lattice II. (F. Yonezawa and T. Matsubara)

芳田研

- Considerations on the Flow of Superfluid Helium. (P. W. Anderson)
- Mössbauer Absorption in the Presence of Electron Spin Relaxation (E. Bradford and W. Marshall)
- Localized Impurity State in Metals: Dilute Alloys of Ni in Be. (A. P. Klein and A. J. Heeger)
- Champs Hyperfins dans les Alliages D'heusler. (B. Carori and A. Blandin)
- Comportement Asymptotique de la Fonction de Distribution Radiale dans les Liquides. (F. Cyrot-Lackmann)
- Electronic Structure of Iron Based Alloys. (A. A. Gomes)
- Localized Moments and Magnetic Couplings in the Theory of Band Magnetism. (P. Lederer and A. Blandin)

揭 示 板

The next I.U.P.A.P. symposium on Statistical Mechanics and Thermodynamics will be held Copenhagen July 11-16 at the H.C.Ørsted Institute. A large fraction of papers read at the conference will be invited papers, but the committee welcomes other contributions.

Presently it is planned to have one session on exact results in connection with ergodic theory and the question of convergence of the virial expansion and one session on the question of quasiparticles in dissipative systems. The question of the existence of the density expansion for transport coefficients has also been mentioned as a topic.

The definitive announcement of the symposium will be sent out at the end of January 1966.

Correspondence regarding the symposium should be addressed to:

DIS Congress Service
Skindergade 36
Copenhagen K
Denmark

(Non scientific matters)

Professor Thor A. Bak
H.C.Ørsted Institute
Universitetsparken 5
Copenhagen Ø
Denmark

(Scientific matters)

For the organizing committee

Thor A. Bak

掲示板

Physics Letter に投稿する方へ

1966年1月以后掲載分については40語 以内の abstract を必ず付けることとなります。お忘れなきよう。

letter の長さは式、図、表をふくめて1500語相当以内。式は一つあたり少くとも40語に相当します。

物性関係の letter は

- D. ter Haar, or W. E. Parry Clarendon Laboratory, Parks Road Oxford, Great Britain へ

または

- R. Kubo (東大理) を経由しても結構です。但し、そのときは英国までの air mail 分の切手をそえて下さい。

湯川記念財団奨学生募集について

昭和40年12月24日

財団法人 湯川記念財団

理事長 鳥 養 利三郎

基礎物理学関係各研究所長殿
各大学物理学教室 主任殿

湯川記念財団奨学生募集について

今般左記要項により昭和41年度奨学生を募集することといたしましたので貴部内関係者に周知方よろしくお願いいたします。な

なお外国留学中の有資格者に対しても適宜の方法にて御連絡お願いいたします。

追つて申し込み期日は延期しないので、関係書類は2月1日までに本財団に必着するよう送付されたく念のため申し添えます。

記

奨学生募集要項

1. 応募資格

大学院博士課程修了者及び41年3月修了予定の理論物理学研究者(この奨

学金は大学院博士課程修了者にその研究の完成を援助する目的をもつて重点的に交付されるいわゆる Post Doctorial Fellowship として支給されるものである)

2. 支給金額

月額25,000円以内

(原則的にはこの最高額が支給されるが研究者の他の収入、研究場所などによつてそれより減額される場合がある。更新は認められるが継続三ヶ年をこえないものとする。)

3. 研究場所

基礎物理学研究所において研究することを原則とするが、事情により他の適当な場所であつてもよい。

4. 募集人員

三名 (内訳は大体素粒子論二名、物性論一名、中間の領域については適宜に定める)

5. 応募書類及び審査

希望者は所定の申込書一部に発表論文リスト、主な論文の別刷、一カ年の研究題目と計画を各二部あて添付して、昭和41年2月1日までに京都市左京区田中大堰町49番地湯川記念財団あて送付すること。他に奨学金その他の収入ある場合、あるいは研究場所について特に希望のある場合などは必ず書き添えること。

審査は基礎物理学研究所運営委員に依頼する。この審査会ではそれぞれの専門に近い委員二名が論文について調査し、その報告に基づいて審査会が候補者をきめ、財団の理事長に推薦する。

昭和40年12月

財団法人 湯 川 記 念 財 団

編集後記

明けておめでとうございます。

1966年 編集部一同

新年号より橋爪先生の講義ノートを数回に分けて連載いたします。先に行なわれた久保先生の講義と Complementaryなものをという先生の御意向です。所謂固体論関係の講義をのせたいと思いますのでこの先生のこんな講義をという希望又は推薦をお願いいたします。なおノート作製費用はかなりはずむ予定ですので世話を引受けて下さる人があればよろしく。

尚各地におられる編集委員は下記の方々です。そちらへ御連絡下さつても結構です。

堀 淳一（北大理）、渡部三雄（東北大理）、鈴木増雄（東大理）、小出昭一郎（東大教養）、三宅 哲（東工大理）、宗田敏雄（東教大理）、阿部竜蔵（物性研）、相村昌平（名大理）、金森順次郎（阪大理）、田中基之（岡大）、吉田 健（九大理）。

編集長が日中学術交流の為、一ヶ月にわたり中国を訪問しましたので来月号にはそのレポートがみられると思います。

物 性 研 究

第5巻第4号

1966年1月20日発行（300円）

発行人 碓 井 恆 丸

印刷者 倉 本 作 雄

京都市左京区岡崎徳成町11

発行所 物性研究刊行会

電話 (77) 8111 内線983

振替 京 都 5312

京都市左京区北白川追分町

京都大学 湯川記念館内

編集後記

明けておめでとうございます。

1966年 編集部一同

新年号より橋爪先生の講義ノートを数回に分けて連載いたします。先に行なわれた久保先生の講義と Complementaryなものをという先生の御意向です。所謂固体論関係の講義をのせたいと思いますのでこの先生のこんな講義をという希望又は推薦をお願いいたします。なおノート作製費用はかなりはずむ予定ですので世話を引受けて下さる人があればよろしく。

尚各地におられる編集委員は下記の方々です。そちらへ御連絡下さつても結構です。

堀 淳一（北大理）、渡部三雄（東北大理）、鈴木増雄（東大理）、小出昭一郎（東大教養）、三宅 哲（東工大理）、宗田敏雄（東教大理）、阿部竜蔵（物性研）、相村昌平（名大理）、金森順次郎（阪大理）、田中基之（岡大）、吉田 健（九大理）。

編集長が日中学術交流の為、一ヶ月にわたり中国を訪問しましたので来月号にはそのレポートがみられると思います。

物 性 研 究

第5巻第4号

1966年1月20日発行（300円）

発行人 碓 井 恆 丸

印刷者 倉 本 作 雄

京都市左京区岡崎徳成町11

発行所 物性研究刊行会

電話 (77) 8111 内線983

振替 京 都 5312

京都市左京区北白川追分町

京都大学 湯川記念館内

目 次

Evaluation Method and Characters of Cluster Sums for the Lattice Gas [I]	井上 政義 189
金属の常磁性帯磁率と電子フォノン相互作用	三 沢 節 夫 204
スピンの寿命 (II)	川 村 清 205
イオン化されたトマール対の ESR	康 舜 沢 209
講義ノート	
統計力学 (I)	橋 爪 夏 樹 219
海外だより	
長岡 (La Jolla) より三輪 (物性研) へ	235
“Symposium of Quantum Fluid” の印象	真 木 和 美 237
ひ る ば	
基研研究会の運営について	244
ニ ュ ー ス	245
プレプリント案内	245
掲 示 板	
International Symposium のお知らせ	247
Physics Letter に投稿する方へ	248
湯川記念財団奨学生募集	248
編 集 後 記	250

目 次

Evaluation Method and Characters of Cluster Sums for the Lattice Gas [I]	井上 政義 189
金属の常磁性帯磁率と電子フォノン相互作用	三 沢 節 夫 204
スピンの寿命 (II)	川 村 清 205
イオン化されたトマール対の ESR	康 舜 沢 209
講義ノート	
統計力学 (I)	橋 爪 夏 樹 219
海外だより	
長岡 (La Jolla) より三輪 (物性研) へ	235
“Symposium of Quantum Fluid” の印象	真 木 和 美 237
ひ る ば	
基研研究会の運営について	244
ニ ュ ー ス	245
プレプリント案内	245
掲 示 板	
International Symposium のお知らせ	247
Physics Letter に投稿する方へ	248
湯川記念財団奨学生募集	248
編 集 後 記	250